

CASE 01

## 周辺環境を館内へと シームレスに引き込むライティング

橋本夕紀夫さん(橋本夕紀夫デザインスタジオ) × 金田篤士さん(ワークテクト)に聞く

グランドホテルからドミトリーホテルまで、宿泊施設におけるライティングは、集客および顧客満足度を左右するデザインのひとつとして、今まで以上に重要視されつつある。

「ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄」の内装設計を手掛けた橋本夕紀夫さん(橋本夕紀夫デザインスタジオ)と、館内の照明計画を担った金田篤士さん(ワークテクト)に、ラグジュアリー・リゾートホテルに求められる照明の特色や傾向について聞いた。

取材・文/谷田宏江 ポートレート撮影/堀口宏明

空間ゾーニングをベースに、  
コンセプトを共有する

どのハイブランド・ホテルにも、館内には一貫した照明のイメージが広がっている。リゾートならば、ロケーションが放つ空気感をいかに堪能できるかに大きな期待が持たれることから、ライティングは空間デザインの細部にまで及ぶ。橋本夕紀夫さんは、「時間、季節、光と影、それぞれのうつろいによって一日の変化を味わうというのがコンセプト。内外の境目をあいまいにするデザインを考えました」と語る。ロビーラウンジの壁面ではグラス(城)の石垣をモチーフにするなど、沖縄ならではの風景がインテリアに取り込まれている。夜のシーンでは、橋本さんが「空間が光で構成されていくように、ゾーニングの中で各スペースの照明のイメージを明確にしていきました」と語り、金田篤士さんが「素材を大胆に使う空間デザインに対して、照明は形として表現するのではなく、建築素材がフレクチャーとして存在するよう計画しました」と続ける。

館内では、スポットライトやダウンライトのような直線的な照射をメインとする照明器具がほとんど視界に入っていない。その代わりに、ロビーラウンジであれば、ホテルの顔とも言える「キューブ」がいっつも目に飛び込んでくる。キューブは、開口部側の下がり壁を構成する大小さまざまな木製格子や、格天井から押し出されたかのような木製フレーム、人を囲むような東屋など、さまざまな用途を変えては現れる。照明器具は、これらの造作に溶け込むように組み込まれ、またその周辺で存在感を消すように設置されている。金田さんは、「橋本さんは、スキッチの段階で既に明確な光のコントラストを思い描いています。このコントラストを踏まえ

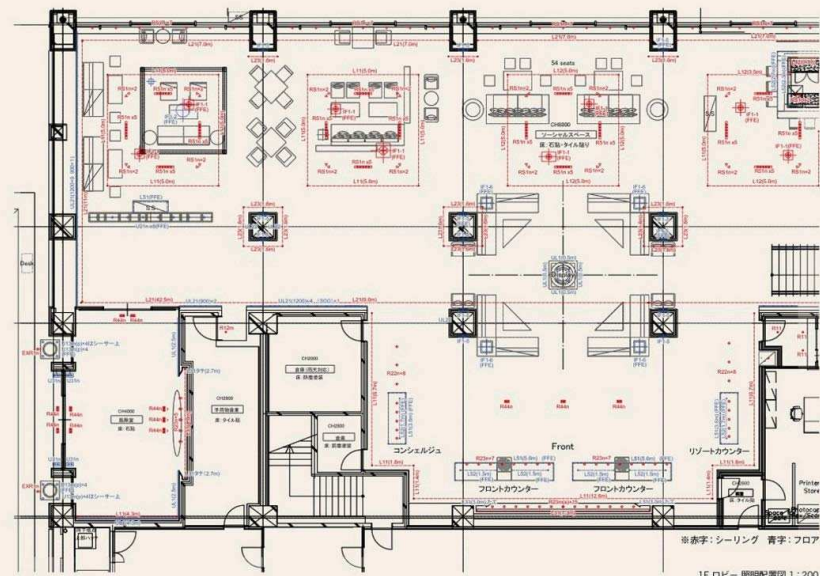
ながら、造作や家具のレイアウトを見て、「ここに照明を入れます」「この造作を照明化します」と提案し、確認していききました」と振り返る。実際にロビーラウンジで一日を過ごすこと、昼夜それぞれに異なる光の表情がもたらされていることがわかる。

風景を魅せるために配慮すべき  
ガラスへの映り込み

料飲施設は、オールデイダイニングをはじめとした、八つのレストランやバーで構成されている。それぞれが個性を表現しつつ、緩やかにつながっていく空気をつくるため、「ライティングは、間接照明と意匠照明の双方を生かす計画を目指しました」と橋本さんは説明する。スペシャルティレストラン「シラカチ 加端」は、壁面の三方がガラス張りであり、ビーチへと視線が抜ける。開口部に沿うよう配置したテーブル席の上部には、琉球ガラスのペンダントライトを吊っているが、ランプシェードの素材によっては開口部への映り込みが懸念された。そこで、琉球ガラスは移り込みの少ない濃いブルーを採用し、金田さんが光源の詳細や位置などを考案。照明として必要最低限の機能を持たせながら、意匠を生かせる形を模索した。オープンキッチンでは、四方へ傾斜する天井の中央からフードを吊っている。照明計画としても演出の見せ場となる天井およびフードは、それぞれ下端に設置したアッパーの間接光で照らし出すと共に、上部に設置したスポットライトでカウンター上と周辺に配光。キッチンの機能を損なわず、オープンでダイナミックな空間演出を可能にした。また、照明器具の存在を感じられないほど自然なライティングに仕上げている。

ライティングの観点から  
FFEについて考察

客室では、開口部に広がる海を満喫できるようにシンプルなものにしつつ、アクセントとしてウージ染めの生地を使用したアートワークをディスプレイ。橋本さんは、「内外につながる感じさせるデザインは、客室にも反映しています。スイートルーム、スタンダードルームのいずれも、水まわりとベッドルームの境界がないよう設計したいと考えました」と話す。空間を広く感じさせると共に、室内のどこにも外部環境を意識できる、全室オーシャンビューを生かすレイアウトとなった。「橋本さんの一貫したコンセプトは、実現が難しい状況が生まれることもあった」と金田さんが語るように、客室の照明計画を進めるなかで紆余曲折があったという。室内造作に照明器具を組み込む際、どのように光を広げていくか、いかにナチュラルな状況をつくるかを橋本さんに確認。平面図だけではなく展開図でも、光の位置を細かくプロットしながら、やりとりを重ねていった。客室の家具や造作に照明器具を仕込むライティングは、最近では主流となりつつある。テーブルライトやフロアライトなど、置き型の照明器具が少なくなってきた背景には、スタンダードルームのように広さの限られた空間を少しでも広く感じさせたいという、空間デザイナーの意志がある。また、客室設計において、家具にさまざまな機能を一体化していく FFE の割合が増えており、照明器具もその流れに巻き込まれている。金田さんは、橋本さんのイメージを、自らが意図するライティングを実現するため、照明が組み込まれた FFE のデザインにも深く関わっていた。



器具一覧

- (シーリング)  
 EXR1n: 斜下用ダウンライト / LED3000K15W(400lm)15° Ra82  
 IF1-1: ペンダントライト / LED2700K30W(100lm)Ra83  
 L11: テーブライト / LED2700K15W(400lm)Ra83  
 L12: テーブライト / LED2700K9.6W(69lm)Ra83  
 L21: ライトバー / LED2700K20W(800lm)Ra82  
 L23: ライトバー / LED2700K10W(400lm)Ra90  
 L31: ライトバー / LED2700K14.4W(1224lm)Ra90  
 R11: ベースダウンライト / LED2700K25W(1000lm)Ra5  
 R12m: ベースダウンライト / LED2700K7W(350lm)15° Ra85  
 R22m: ベースダウンライト / LED2700K7W(350lm)125° Ra85  
 R23m: ベンチホールダウンライト / LED2700K9W(400lm)25° Ra82  
 R23n: ベンチホールダウンライト / LED2700K9W(400lm)15° Ra82  
 R44n: 3灯用トリムレスアジャスタブルダウンライト / LED3000K15W15° Ra85  
 RS1n: フレーム内アジャスタブルダウンライト / LED2700K9W(500lm)10° Ra85  
 RS1n: レールスポットライト / LED2700K2.6W(195lm)15° Ra80
- (フロア)  
 IF1-2: ペンダントライト / LED2700K25W(100lm)Ra83  
 IF1-5: プラケットライト / LED2700K20W(600lm)Ra83  
 IF1-6: テーブルランプ / LED2700K10W(400lm)Ra83  
 L31: ライトバー / LED2700K14.4W(1224lm)Ra90  
 L51: テーブライト / LED2700K9.6W(69lm)Ra90  
 L52: ライトバー / LED2700K9.6W(69lm)Ra90  
 U13m(n): 床埋め込み式アッパーライト / LED2700K3W(150lm)20° Ra82  
 U21n: 床埋め込み式アジャスタブルアッパーライト / LED2700K9W(400lm)10° Ra82  
 U31n: 床埋め込み式アッパーライト / LED2700K2W(400lm)15° Ra82  
 UL1: 床埋め込み式ダウンライト / LED3000K12W(mRa82  
 UL21: 床埋め込み式ダウンライト / LED2700K16W(15° Ra82  
 UL22: 床埋め込み式ダウンライト / LED2700K12W(m)15° Ra82

